

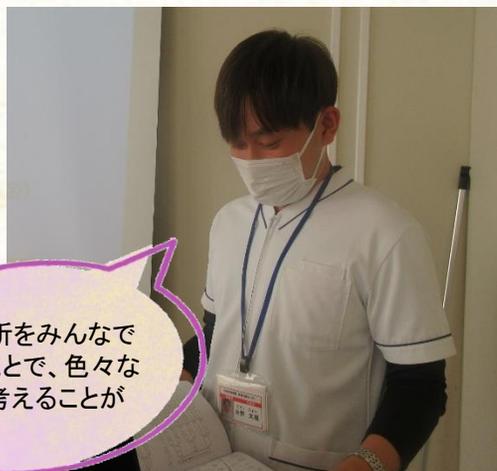


11月18日(金)レベルIV研修「業務改善発表会」を実施しました

5月の集合研修で「QC的問題解決技法」を学び、その後研修生は、自部署の問題に対して取り組みを実施しました。研修生は取り組みの成果を「テーマの選定」から「現状の把握」「真因の把握」など問題解決のためのプロセスに沿って発表しました。質疑応答では活発に意見交換できました。



真因分析をみんなで考えることで、色々な角度で考えることができた



研修生は業務改善を通して、周囲を巻き込んで活動することの難しさを感じながら、リーダーシップを発揮しました。問題解決のプロセスに沿って実施しましたが、真因分析が不十分であったり、真因に沿った対策でなかったりと、1つ1つを十分に理解し実施することは難しかったようです。研修生たちはこれからも自部署の看護の質を挙げられるような行動をしたいと言ってくれていました。その際は皆さん、協力・支援をお願いします。



私と同じような取り組みをされているなと思って聞いていました。要因分析を丁寧にすることが大切だと実感しました。

業務改善成果発表お疲れ様でした。病棟内の看護の質を向上させる目的で問題を洗い出し、真因を導き出すところはとても難しく、根気を必要とする取り組みであったと思います。しかし、リーダーシップを発揮し、目標達成のためにスタッフへ意識づけを行い、不明点があれば相談に乗ることを伝え、細やかな対応をすることの大切さも学んでいたもので、とてもよかったと思います。今回の学びをぜひ今後のチーム医療に役立ててください。応援しています。

竹浦

約半年かけての取り組みお疲れ様でした。テーマ選定や真因の解析、周囲を巻き込んでリーダーシップを発揮することでは苦勞をしたのではないかと思います。しかし、自分自身の取り組みを発表できたことで、自信にも繋がっていることだと思います。今回の取り組みで終了するのではなく、今後も看護の質を向上させるための取り組みを続けていって下さい。

森